

発行日
2024年
4月21日

今週のお祈り 復活節第4主日特祷
永遠の契約の血によって良い羊飼い、
主イエス・キリストを死人のうちからよ
みがえらせられた平和の神よ、どうか、
わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前
に喜ばれるすべての良い業を行わせて
くださいますように、主イエス・キリス
トによってお願いいたします。アーメン

新年度のお疲れが出てくる頃かもしれません。お天気も変わりやすく、衣服の調節も難しいですね。冬に大活躍だった毛糸のセーターやマフラーは寒くなるまでお休みです。今日の良い羊飼いのお話もおもいでね！

今週の聖書 ヨハネによる福音書 10:11-16

11 「私は良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。12 羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、また追いつけず。——13 彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。14 私は良い羊飼いである。私は自分の羊を知っており、羊も私を知っている。15 それは、父が私を知っておられ、私が父を知っているのと同じである。私は羊のために命を捨てる。16 私には、この囲いに入っていないほかの羊がいる。その羊をも導かなければならない。その羊も私の声を聞き分ける。こうして、一つの群れ、一人の羊飼いとなる。」



聖書からのメッセージ

執事 高柳 章江

イエス様はご自分のことを羊飼いにたとえ、さらに「良い羊飼い」である、といました。羊は臆病で、警戒心が強い動物です。弱いので、狼などの動物に狙われたらひとたまりもありません。そこで羊は身を守るために大勢の仲間と一緒に行動します。けれども羊は、そのグループにボスやリーダーをたてません。ですから羊飼いが必要なのです。羊飼いがいれば、おいしい草が生えているところや水場に連れて行ってもらえたり、狼などの敵に襲われたときも、羊飼いが守ってくれるので安心です。羊の毛は、毛糸になって服の材料になったり、フェルトとしてテントの壁に使われたりします。ここでいう羊とは私たちのことです。私たちの命を守ってくださるイエス様がいてくださるからこそ、私たちは人のために働くことができるのです。



ひつじ けが
羊の毛刈り